

2022年3月期 第1四半期 決算説明会

2021年8月13日

富士フイルムホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

0

■ 2022年3月期 第1四半期 業績

(億円)

	実績	対FY20 1Q	対FY19 1Q
売上高	5,827	+27.7%	+8.8%
営業利益	563	2.8倍	+51.7%
当社株主帰属 四半期純利益	過去 最高 573	2.1倍	3.9倍

- ✓ 全ての事業セグメントで増収・増益。新型コロナの影響を受けた前年度から順調に回復。
- ✓ 1Qとしては過去最高益となる当社株主帰属四半期純利益を達成。業績好調に加えて、先端医療分野の出資先会社上場による投資有価証券評価益が寄与。

■ 2022年3月期 通期業績予想

(億円)

	前回予想	今回予想	対前回予想
売上高	24,400	25,000	+600
営業利益	1,800	2,000	+200
当社株主帰属 当期純利益	1,300	1,600	+300

- ✓ 好調な1Q業績を反映し、通期業績予想を上方修正。

1

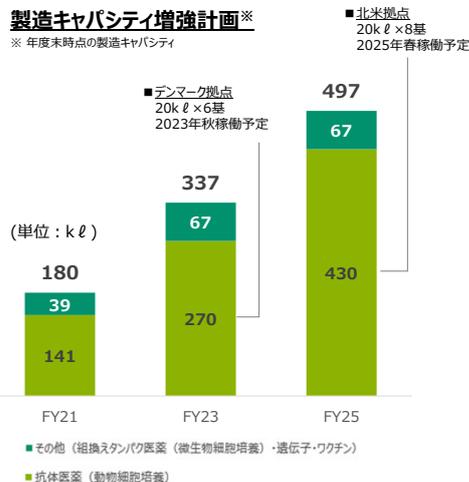
1

バイオCDMO事業

- 欧米拠点への大型設備投資を決定。総額約900億円、2023年後半稼働予定。
- 米国における、遺伝子組換えタンパクワクチンの原薬製造キャパシティを現行の約2倍に向上させ、新型コロナワクチンの需要増にも対応。
- 製造キャパシティの増強に加えて、業界トップクラスの生産性により、バイオ医薬品需要の増加に対応し、高品質な医薬品の安定供給に貢献する。

製造キャパシティ増強計画※

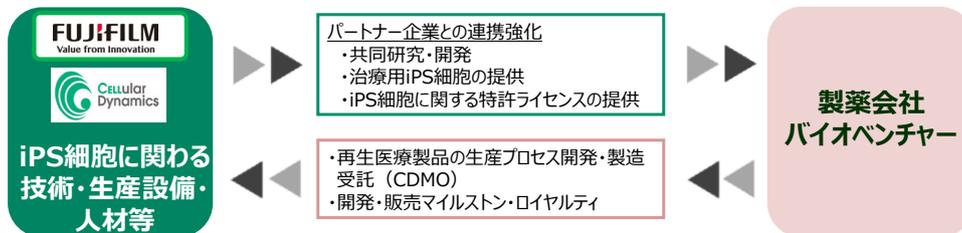
※ 年度末時点の製造キャパシティ



積極的な設備投資により、2024年度売上目標2,000億円の達成と、2025年度以降のCAGR+20%成長を実現する。

ライフサイエンス事業 (再生医療分野)

- 他家iPS細胞を用いた次世代がん免疫治療薬の開発を目的に、米国子会社FCDIが出資参画し、設立したCentury社が米国NASDAQ市場に上場。それに伴い、投資有価証券評価益176億円を計上。
- 独バイエル子会社の米BlueRock社とiPS細胞を用いた眼疾患治療法の研究開発における戦略的提携※に合意。3件の網膜疾患治療プログラムの開発に関して、契約一時金 (30MUSD) を受領。また、研究開発および治験薬製造の一部にかかる資金 (最大40MUSD) を受領予定。



再生医療分野では、iPS細胞に関わる技術・生産設備・人材等を活用したパートナー企業との連携を強化し、細胞治療の産業化を推進する。

※ 当社グループのFUJIFILM Cellular Dynamics, Inc. (FCDI)・及びOpis Therapeutics, LLC・
大手製薬企業Bayer AG (バイエル社) の子会社であるBlueRock Therapeutics LPの3社契約

(単位：億円)

	1Q				
	2021年3月期	2022年3月期	対2021年3月期	為替影響	対2021年3月期 為替影響除く
売上高	4,563 100.0%	5,827 100.0%	1,264 +27.7%	197	1,067 +23.4%
営業利益	204 4.5%	563 9.7%	359 2.8倍	40	319 2.6倍
税金等調整前 四半期純利益	422 9.2%	過去 最高 778 13.3%	356 +84.3%	51	305 +72.3%
当社株主帰属 四半期純利益	275 6.0%	過去 最高 573 9.8%	298 2.1倍	35	263 +95.6%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	68.80円	143.34円	74.54円		
為替 : 米ドル : ユーロ	108円 119円	109円 132円	1円安 13円安	<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響 : ▲53億円	

4

4

(単位：億円)

売上高	1Q		対前年度	為替影響除く
	2021年 3月期	2022年 3月期		
ヘルスケア	1,102	1,742	640 (+58.0%)	588 (+53.3%)
マテリアルズ	1,274	1,498	224 (+17.7%)	179 (+14.2%)
ビジネスソリューション	1,689	1,861	172 (+10.2%)	110 (+6.5%)
イメージング	498	726	228 (+45.6%)	190 (+38.0%)
合計	4,563	5,827	1,264 (+27.7%)	1,067 (+23.4%)

*セグメント間取引消去後

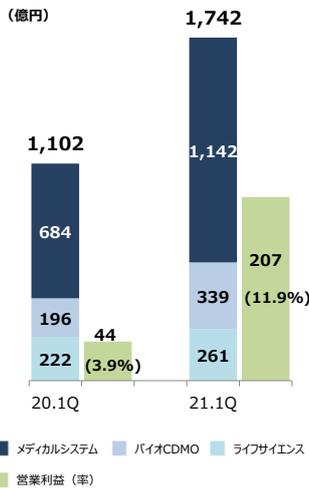
(単位：億円)

営業利益	1Q		対前年度	為替影響除く
	2021年 3月期	2022年 3月期		
ヘルスケア	44	207	163 (4.7倍)	155 (4.6倍)
マテリアルズ	131	213	82 (+62.9%)	76 (+58.4%)
ビジネスソリューション	134	140	6 (+4.5%)	-2 (-1.3%)
イメージング	-30	80	110 黒字化	91 黒字化
全社/連結調整	-75	-77	-2 -	-1 -
合計	204	563	359 (2.8倍)	319 (2.6倍)

5

5

- 全サブセグメントでのオーガニックグロースに加えて、メディカルシステム事業における富士フィルムヘルスケアの連結子会社化も寄与し、売上高対前年+58.0%、営業利益対前年4.7倍となる大幅な増収・増益を達成。



■ **メディカルシステム**：売上高1,142億円（対前年+67.1%）

- 富士フィルムヘルスケアの連結子会社化に加えて、肺炎診断に有用な超軽量移動型デジタルX線撮影装置や、超音波画像診断装置の需要継続などにより、売上が大幅に増加。

■ **バイオCDMO**：売上高339億円（対前年+72.5%）

- バイオ医薬品のプロセス開発受託及び製造受託が好調に推移したことに加え、米国拠点での新型コロナワクチン候補の原薬製造が寄与するなど、売上が大幅に増加。

■ **ライフサイエンス***：売上高261億円（対前年+17.5%）

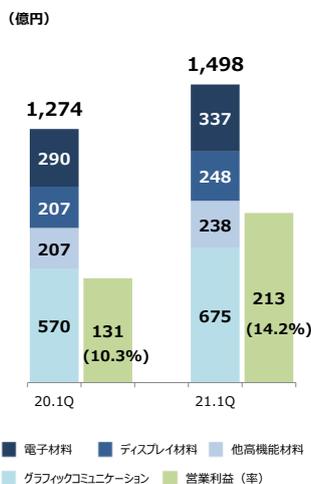
- ライフサイエンス事業は、バイオ医薬品製造用途の培地販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- コンシューマーヘルスケア事業は、サプリメント「メタバリアEX」などの販売が好調だったことに加え、化粧品も新製品が堅調に推移し、売上が増加。

※ライフサイエンス：ライフサイエンス事業（細胞・培地・試薬）、医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業（化粧品・サプリメント）から構成される開示セグメント

6

6

- 新型コロナ影響からの着実な回復に加えて、半導体需要の増加に伴う電子材料事業の成長が牽引し、売上高対前年+17.7%、営業利益対前年+62.9%となる大幅な増収・増益を達成。



■ **電子材料**：売上高337億円（対前年+16.1%）

- 半導体需要の増加に伴い、CMPスラリーやポリイミドなど幅広い製品群で販売が好調に推移し、売上が増加。

■ **ディスプレイ材料**：売上高248億円（対前年+19.6%）

- 新型コロナ流行下でのモニター、タブレット及びTV需要の増加や、スマートフォンの堅調な需要を受けて、各種の高機能フィルム製品の販売が好調に推移し、売上が増加。

■ **他高機能材料***：売上高238億円（対前年+15.6%）

- 記録メディア事業では、新型コロナ流行下で落ち込んでいたテープ需要が徐々に回復傾向にあり、売上が増加。

■ **グラフィックコミュニケーション**：売上高675億円（対前年+18.5%）

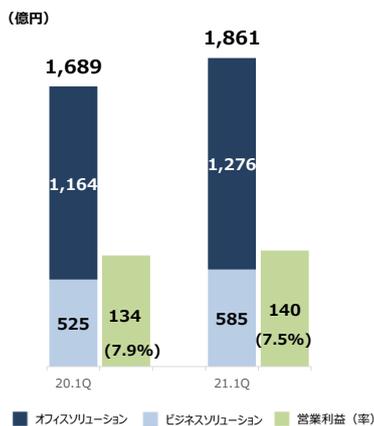
- オンラインでの商談を積極的に活用するなど販売を伸ばし、売上が増加。
- インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が欧州・中国のセラミック市場での需要増により好調に推移し、売上が増加。

※他高機能材料：産業機材事業、ファインケミカル事業、記録メディア事業から構成される開示セグメント

7

7

- 新型コロナ影響からの回復により、売上高対前年+10.2%、営業利益対前年+4.5%となる増収・増益を達成。
- 「FUJIFILM」ブランドでの新製品展開をスタート。新規OEM供給も含めたグローバル展開を更に加速する。



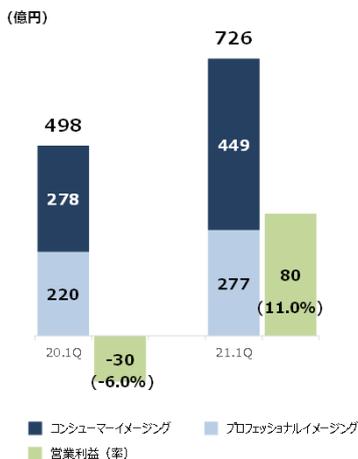
■ オフィスソリューション：売上高1,276億円（対前年+9.5%）

- オフィスプロダクト分野で、日本、中国、及びアジアパシフィック地域、欧米向け輸出のそれぞれで販売台数が前年を上回るとともに、新型コロナ影響からの回復に伴い、アフター売上も大きく成長。
- 「FUJIFILM」ブランドによるグローバル展開に当たって、2021年4月にはデザインを一新し、セキュリティ機能を強化したデジタルカラー複合機、及びプリンター「Apeos」の新製品を発売。

■ ビジネスソリューション：売上高585億円（対前年+11.5%）

- 国内での自治体向けシステムビジネスの獲得や、海外を中心にBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業の販売増などにより、売上が増加。
- 売上構成は、ドキュメントのデジタル化に貢献するBPO事業を中心とした「インダストリアルソリューション」領域が6割、SMB市場向けにITインフラ環境の提供を行うITアウトソーシングなどの「DXソリューション」領域が4割。今後、両領域の更なる強化により成長を加速させる。

- インスタントフォトシステムの販売が好調に推移し、売上高対前年+45.6%、営業利益対前年黒字化となる大幅な増収・増益を達成。



■ コンシューマーイメージング：売上高449億円（対前年+61.0%）

- 新型コロナ影響からの回復に加えて、インスタントフォトシステムや、米国リテーラー向けのドライブレインティング機器及び材料の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加。
- 2021年4月にミニフォーマットフィルムに対応した新エントリーモデル「instax mini 40」を発売し、トレンドに左右されないクラシックなカメラデザインを採用したことが市場に高く評価され、国内外で売上が好調に推移。

■ プロフェッショナルイメージング：売上高277億円（対前年+26.1%）

- ラージフォーマットによる最高画質を小型ボディで楽しめるミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100S」が世界各地で高い評価を受け、新規ユーザーを取り込み、販売好調が継続。
- 新型コロナ影響により需要が減少していた放送・シネマ用レンズの販売が回復基調にあり、売上が増加。遠望監視やマシンビジョンなど監視計測領域の販売も好調に推移。

連結貸借対照表

(単位：億円)

	20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 6月末	対21年 3月期末		20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 6月末	対21年 3月期末
現金及び現金同等物	3,961	3,948	4,314	366	長短社債及び借入金	6,242	5,030	5,027	-3
受取債権	5,584	6,057	5,355	-702	支払債務	2,223	2,399	2,422	23
棚卸資産	3,809	4,177	4,580	403	その他流動固定負債	4,814	5,841	5,892	51
その他流動資産	1,538	892	1,213	321	負債計	13,279	13,270	13,341	71
流動資産計	14,892	15,074	15,462	388	株主資本計	19,533	22,046	22,690	644
有形固定資産	6,005	6,353	6,431	78	非支配持分	405	176	179	3
営業権	6,872	8,042	8,078	36	純資産計	19,938	22,222	22,869	647
その他固定資産	5,448	6,023	6,239	216	負債・純資産合計	33,217	35,492	36,210	718
固定資産計	18,325	20,418	20,748	330					
資産合計	33,217	35,492	36,210	718					

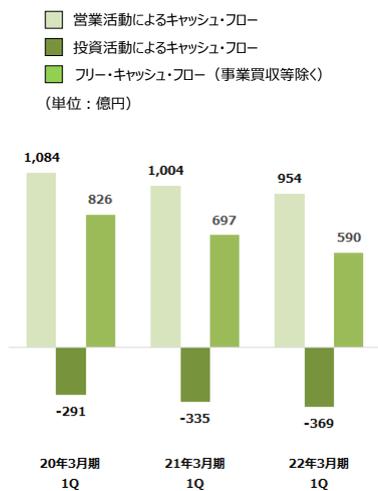
(単位：円)

期末日 為替レート	20年 3月期末	21年 3月期末	22年3月期 6月末	対21年 3月期末
米ドル	109	111	111	-
ユーロ	120	130	132	2円安

10

10

キャッシュ・フロー



(単位：億円)

	20年3月期 1Q	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q
当期純利益	188	277	583
減価償却費	300	299	313
受取債権の増(-)減(+)	859	979	721
棚卸資産の増(-)減(+)	-304	-455	-396
営業債務の増(+)-減(-)	-89	-166	51
その他	130	70	-318
営業活動によるC F	1,084	1,004	954
設備投資	-185	-230	-275
ソフトウェアの購入	-38	-38	-70
投資有価証券の売却・購入等	-33	-28	-5
事業買収	0	0	0
その他	-35	-39	-19
投資活動によるC F	-291	-335	-369
フリー・キャッシュ・フロー	793	669	585
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー※	826	697	590

11

11

2022年3月期 業績予想

12

12

2022年3月期 連結業績予想 (2021年8月13日時点)

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	対前年度	対前回予想
売上高	21,925 100%	24,400 100%	25,000 100%	3,075 +14.0%	600 +2.5%
営業利益	1,655 7.5%	1,800 7.4%	2,000 8.0%	345 +20.9%	200 +11.1%
税金等調整前 当期純利益	2,359 10.8%	1,850 7.6%	2,200 8.8%	-159 -6.7%	350 +18.9%
当社株主帰属 当期純利益	1,812 8.3%	1,300 5.3%	1,600 6.4%	-212 -11.7%	300 +23.1%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	453.28円	325.16円	400.18円	-53.10円	+75.02円
ROE	8.7%	6.2%	7.1%	-1.6%	+0.9%
ROIC	4.3%	4.6%	4.9%	+0.6%	+0.3%
CCC	123日	124日	124日	+1日	-
為替 : 米ドル	106円	104円	109円	3円安	5円安
: ユーロ	124円	124円	132円	8円安	8円安
銀価格 (/kg)	74,000円	84,000円	95,000円	+21,000円	+11,000円

* 2022年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：3億円 ユーロ：8億円

13

13

(単位：億円)

売上高	2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	対前回予想
ヘルスケア	7,500	7,700	200
マテリアルズ	6,000	6,200	200
ビジネスイノベーション	8,000	8,000	0
イメージング	2,900	3,100	200
合計	24,400	25,000	600

営業利益	2022年 3月期 前回予想	2022年 3月期 今回予想	対前回予想
ヘルスケア	700	780	80
マテリアルズ	560	620	60
ビジネスイノベーション	750	750	0
イメージング	160	220	60
全社/連結調整	-370	-370	0
合計	1,800	2,000	200

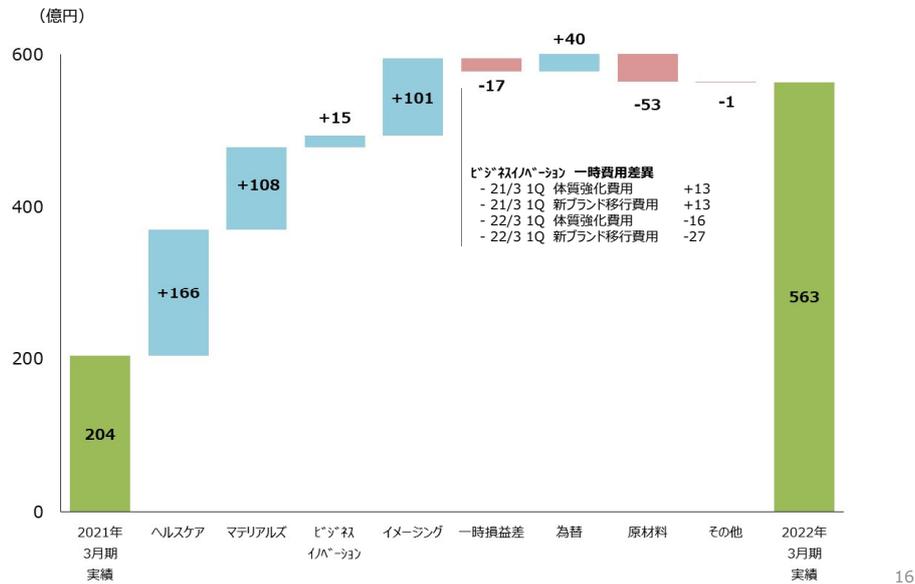
14

14

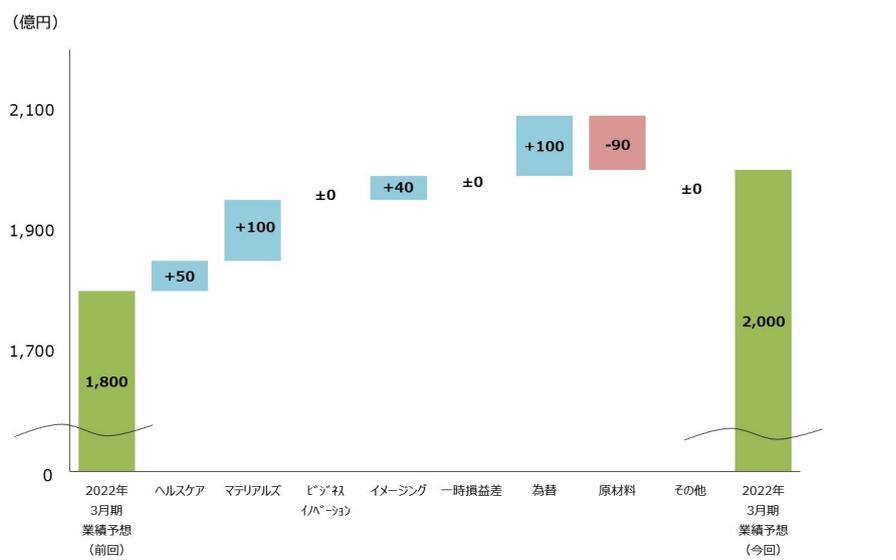
参考資料

15

15



16



17

売上高	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
メディカルシステム	684	1,142	458 (+67.1%)	420 (+61.5%)
バイオCDMO	196	339	143 (+72.5%)	132 (+67.1%)
ライフサイエンス	222	261	39 (+17.5%)	36 (+16.1%)
合計	1,102	1,742	640 (+58.0%)	588 (+53.3%)

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	44 [3.9%]	207 [11.9%]	163 (4.7倍)	155 (4.6倍)

18

18

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
電子材料	290	337	47 (+16.1%)	36 (+12.3%)
ディスプレイ材料	207	248	41 (+19.6%)	40 (+19.0%)
他高機能材料	207	238	31 (+15.6%)	26 (+13.2%)
グラフィックコミュニケーション	570	675	105 (+18.5%)	77 (+13.8%)
合計	1,274	1,498	224 (+17.7%)	179 (+14.2%)

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
マテリアルズ	131 [10.3%]	213 [14.2%]	82 (+62.9%)	76 (+58.4%)

19

19

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
オフィスソリューション	1,164	1,276	112 (+9.5%)	70 (+5.9%)
ビジネスソリューション	525	585	60 (+11.5%)	40 (+7.7%)
合計	1,689	1,861	172 (+10.2%)	110 (+6.5%)

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
ビジネスイノベーション	134 [7.9%]	140 [7.5%]	6 (+4.5%)	-2 (-1.3%)

20

20

(単位：億円)

売上高	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
コンシューマーイメージング	278	449	171 (+61.0%)	149 (+53.0%)
プロフェッショナルイメージング	220	277	57 (+26.1%)	41 (+18.9%)
合計	498	726	228 (+45.6%)	190 (+38.0%)

*セグメント間取引消去後

営業利益 [営業利益率]	1Q			
	2021年 3月期	2022年 3月期	対前年度	為替影響除く
イメージング	-30 [-6.0%]	80 [11.0%]	110 黒字化	91 黒字化

21

21

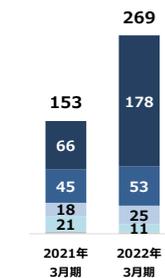
(単位：億円)

	2021年3月期 1Q		2022年3月期 1Q		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	44.5%	2,029	38.2%	2,224	195	(+9.6%)
米州	17.2%	784	21.1%	1,229	445	(+56.7%)
欧州	10.8%	496	12.5%	730	234	(+47.2%)
内、中国	15.0%	684	14.2%	831	147	(+21.5%)
アジア他	27.5%	1,254	28.2%	1,644	390	(+31.2%)
海外	55.5%	2,534	61.8%	3,603	1,069	(+42.2%)
合計	100.0%	4,563	100.0%	5,827	1,264	(+27.7%)

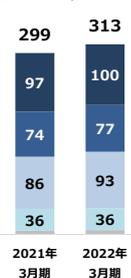
22

22

設備投資（有形固定資産）（1Q）



減価償却費（1Q）



- ヘルスケア
- マテリアルズ
- ビジネスイノベーション
- イメージング
- コーポレート

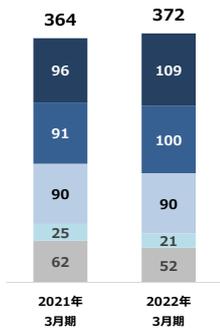
(単位：億円)

年度	1Q		通期	
	2021年 3月期	2022年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予想)
ヘルスケア	66	178		
マテリアルズ	45	53		
ビジネスイノベーション	18	25		
イメージング	21	11		
コーポレート	3	2		
設備投資（有形固定資産）	153	269	1,009	2,000
ヘルスケア	17	28		
マテリアルズ	9	10		
ビジネスイノベーション	31	52		
イメージング	11	12		
コーポレート	4	7		
設備投資（ソフト、レンタル資産他）	72	109	444	600
ヘルスケア	97	100		
マテリアルズ	74	77		
ビジネスイノベーション	86	93		
イメージング	36	36		
コーポレート	6	7		
減価償却費	299	313	1,234	1,400

23

23

研究開発費 (1Q)



■ ヘルスケア ■ マテリアルズ ■ ビジネスイノベーション
■ イメージング ■ コーポレート

(単位：億円)

年度	1Q		通期	
	2021年 3月期	2022年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予想)
ヘルスケア	96	109		
マテリアルズ	91	100		
ビジネスイノベーション	90	90		
イメージング	25	21		
コーポレート	62	52		
研究開発費	364	372	1,522	1,600
<売上高比>	8.0%	6.4%	6.9%	6.4%
販売費及び一般管理費	1,306	1,592	5,520	
<売上高比>	28.6%	27.3%	25.3%	

24

24

為替

(単位：円)

	2021年3月期					2022年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期 (予想)
米ドル	108	106	105	106	106	109	109
ユーロ	119	124	125	128	124	132	132

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2021年3月期					2022年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期 (予想)
銀	55	78	83	91	74	93	95

人員

(単位：人)

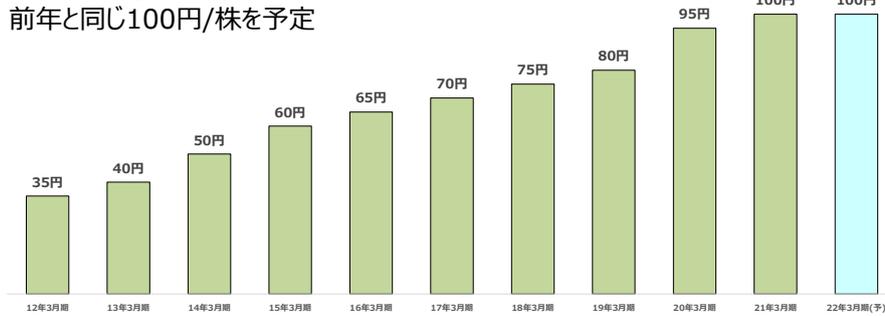
	2020.6末	2020.9末	2020.12末	2021.3末	2021.6末
連結	73,569	72,176	71,474	73,275	75,879

25

25

■ 配当金

2022年3月期の年間配当金は、
前年と同じ100円/株を予定



■ 自己株式取得

キャッシュフローを勘案し、株価の推移に応じて機動的に実施

26

26

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗新型コロナウイルス (COVID-19) 薬 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	日本	承認申請中
			米国	Ph II
			日本	Ph III
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬 脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
			欧州	Ph II
			日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I/ II a
			日本	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	承認取得
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピリボソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トボテカンリボソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	承認申請中

27

27

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

富士フィルムホールディングス 統合報告書2020

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

富士フィルムってどんな会社？

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/about/brand/story/neverstop>

新型コロナウイルス感染症への取り組み

<https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/>

28

28

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>

29